

会議の要旨（議事録）

会議の名称	第5回鳥栖市公立保育所のあり方検討委員会		
開催日時	令和7年2月25日 18時30分～	開催場所	鳥栖市役所1階 多目的ホール
出席者数	13人（委員） 5人（事務局） 計18人	傍聴人数	0人
議題	(1) 鳥栖市公立保育所再編計画（案）について (2) 今後のスケジュールについて		
配布資料	鳥栖市公立保育所再編計画（案） 今後のスケジュール		
所管課	（課名） こども育成課 （電話番号） 85 - 3552		

1. 鳥栖市公立保育所再編計画(案)について

事務局より次の資料に基づいて説明

- ・鳥栖市公立保育所再編計画(案)

委員：今2園再編で出していただいたが、鳥栖いづみの園の方が施設はきれいであるが、再編後も同じ規模である白鳩園と小鳩園については、今のところ建て替える予定はあるのか。災害時用に使うということからも建て替える可能性について検討する必要があるのではないか。

事務局：施設の改修については保育所に関わらず、まちづくり推進センターや学校など様々な施設があり、公立の施設を全体で管理している計画がある。

その中で今回の公立保育所については再編計画があるため、大規模改修を先送りしているような状況。

今後、民間移管する公募の中で、現在の施設のまま民間移管して、民間移管後に建て替えるのか、それともある程度大規模改修をして民間移管するのかを検討していきたいと考えている。

委員：民間に保育を引き継ぐのが令和10年度からというのは変わらないのか。

事務局：示しているスケジュールはモデルスケジュールであり、最短で令和10年度になるのではないかと考えている。

これから様々な協議を踏まえながら、公募や改修時期の計算をした上で、令和10年度頃にできるのではないかと考えている。

委員：ではその間に改修の必要があれば、改修を行っていくということでもいいか。

事務局：改修については様々な方法があるため遅れたりする可能性があるが、体制がはっきりした段階で、事業者等と協議を行い改修に移りたいと思っている。

委員：保育士の人数について、現在の人数は確保していく予定ということだが、民間移管後の保育士はどのように配置していく予定なのか。

事務局：民間移管後について、公立で運営する園は今のところ2園の予定。2園については、保育士の正規職員が各園に15名程度ずつの配置になると考えている。

あと、市役所内部や保健センターなど様々な分野で保育士の資格を持たれている方を、必要とする部署が増えてきているので、相談や支援で15名の配置になると考えている。これらの配置を合わせて保育士の正規職員45名は現在から継続となっている。

正規職員以外に、年度毎で雇用している会計年度任用職員の保育士については、雇用を

継続するかどうか、意向を確認しながら、職員からの希望があれば、新しく民間移管先に斡旋をさせていただきたいと考えている。

委員：ということは今後の公立保育施設での保育士の正職の採用というのはどのように考えているのか。欠員が出たら補充みたいな形で対応していくのか。

事務局：全体の職員の採用計画については、全体の職員枠があるため、総務課のほうで検討になると思う。現在として、保育士の正規職員の方については、確保していただくということで、年齢的に偏りがあると将来的に不都合もありますので、バランスの良い採用についてお願いしている。

委員長：新しい職員採用というのは今のところ考えておらず、今の状況で2年ぐらい進み、保育士の会計年度任用職員の数も変わりがないということでよいか。

事務局：今回鳥栖市に提言書をいただいたが、提言書について皆様にご協議いただいた分を鳥栖市公立保育所再編計画（案）に上げさせていただいており、考え方としては提言書でいただいた内容をそのまま引き継ぐ方向で考えている。

今年度で退職される方がいる場合、採用に関しては現状の人数を確保できるよう市としては採用募集を実施している。今年については採用が叶わなかったということで来年度の4月には、今の段階では欠員になる予定だが、市としては、募集している。

鳥栖市は現状、これだけ保育士が必要だということで委員の皆さまから提言をいただいている。現状を変え、子育て支援を充実させる必要があると考えているので、正規職員の保育士の人数としては現状維持のままを要望していきたいと思っている。以前言われたように、保育士の会計年度任用職員については、基本1年度単位での雇用。ただし、今は結構長く皆様にお勤めいただいているところである。本人の希望というのが1番にはなるが、計画書にあげているとおりに、現在在園中の園児たちのためには知った先生がそのまま民間移管先でも保育を引き継いでいただく方が少しでも安心できる場所があるので、市としても民間移管先に残っていただくことをお願いしたいと思っている。

ただ、会計年度任用職員が全くいない状態で、公立保育所が正規職員だけで回るのかというそういう状態でもないので、提言書でいただいたとおりに、会計年度任用職員の割合は下がりはあるが、会計年度任用職員も必要ということで、雇用計画を考えている。

委員：今後、様々な子育て支援に実際関わっていくと思うので、この再編計画が、鳥栖市の保育の向上となるようしっかり考えていって欲しい。特に小鳩園は、行政施設と連携していくということが書いてあるので、民間移管された園もそれぞれの特色を生かして、様々な子育て支援を行って欲しいという希望を持っている。

委員長：これまでどおりの保育の質の向上を願い、再編後も変わらず保育をして欲しい。

委員（公立園長）：鳥栖市の正規職員としてよりよい子育て支援、保育園のパターンが十分に生かせるような形で努力していきたいと思っている。

委員長：先生方は本当に保護者の皆様の普段の相談とか親身になって考えてくださっているので、

これからも継続していただくよう要望したい。

2. 今後について

事務局より次の資料に基づいて説明

- ・今後のスケジュール

委員：パブリック・コメントの形態というのは、市報と市 HP でということだが、各保育所や事業者へ、個別に園から案内があったりするのかな。

事務局：今後のスケジュールの補足になるがパブリック・コメントを、今言われたとおり各保育所やまちづくり推進センター等にも設置をする予定。

また、同時に民間移管の話が出ている公立保育所については、保護者説明会などを実施し、保護者説明会に都合がつかず参加できない方には、別途説明会という形で、保護者説明会の場を設けたいと思う。

それ以外にも地元の区長や民生委員にも説明をさせていただきまして、3月に始まる、3月議会でも、市議会議員の方々へ話をしていきたいと思っている。

委員：この保護者への説明はいつ頃か。

事務局：パブリック・コメントを今後の4月の後半から5月の後半頃に実施する予定で、それは新しい学年の始まりになるので、保護者説明はパブリック・コメントの時期に合わせてさせていただければと考えている。

委員：では公立保育所の保護者の皆さんがわかるのは4月上旬、ホームページで公開すると同時に、保護者の方にも説明されるのかな。

事務局：時期的には同じ時期になると思うが、今日のあり方検討委員会での協議など、再編計画案については色々なところから表に出ると思うので、取り扱いについては対応していきたいと考えている。

委員長：では原案どおりで行くということで良いか。

委員：【了承】

事務局：公立保育所の再編をこれから行っていきたいと考えている。将来の鳥栖市の子育て支援、保育のあり方というのを考え、今の段階から行動していきたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。